

# 第1回札幌市ウォーカブル ビジョン策定検討委員会

令和6年7月26日(金)13:00～  
開始までしばらくお待ちください



# 本日の流れ

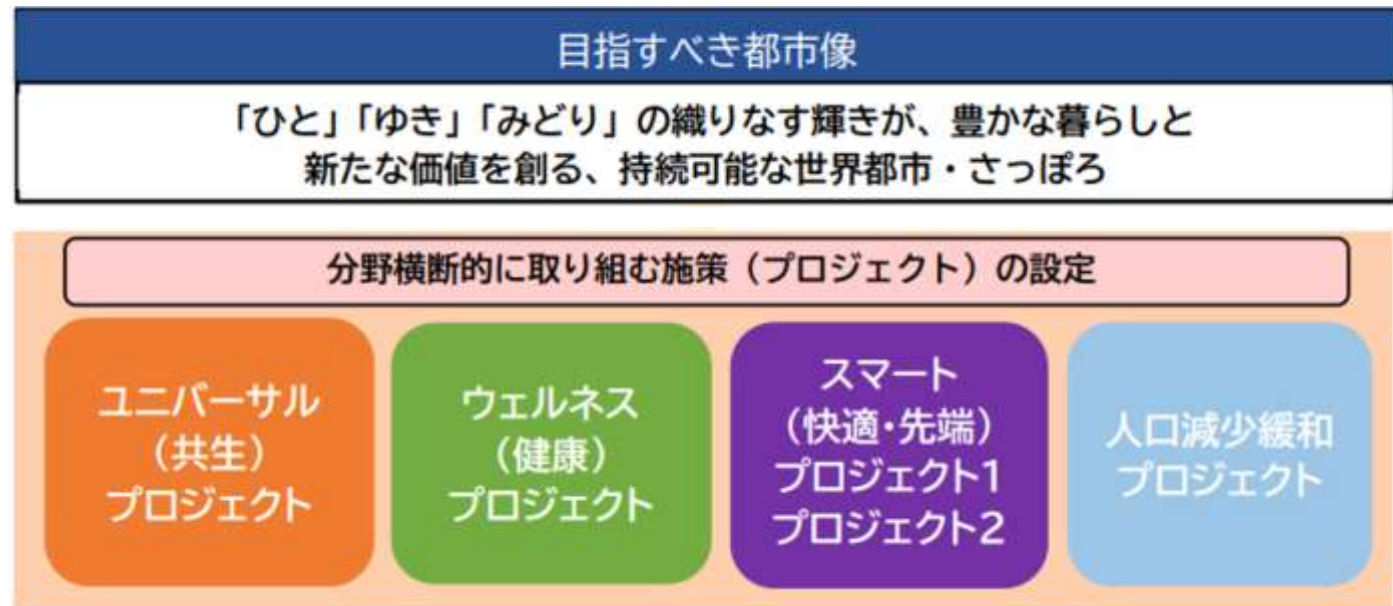
- 1 開会挨拶
- 2 委員長選出
- 3 事務局説明
  - ・「（仮称）札幌市ウォークアブルビジョン」の策定
  - ・公募型実証実験の実施
  - ・今後のスケジュール
- 4 意見交換
- 5 事務連絡・閉会

# 「（仮称）札幌市ウォーカブルビジョン」策定の背景

- ・令和4年度に札幌市の長期総合計画である「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」が策定
- ・重要施策の一つとして「ウォーカブルシティの推進」を掲げ、市長公約にも位置づけられている



札幌市の長期総合計画(令和4～13年度)



プロジェクト3本柱の1つに【ウォーカブルシティの推進】  
「居心地が良く歩きたくなり、多様な活動ができる・滞留したくなる空間の形成に向けて、都心・地域交流拠点・住宅市街地のそれぞれの特性を生かした空間の整備を進めます。」



# 札幌市におけるウォーカブル推進の意義・目的

- ・ウォーカブルシティ(居心地がよく歩きたくなるまち)推進の目的は様々あるが、都市によって力点が異なる
- ・札幌市では特に「健康」「安全・安心」「交流・にぎわい」の観点から推進する必要があると考えている

## ■健康寿命の延伸

- ・札幌市の健康寿命は他の政令指定都市と比較して低位  
※20政令市中17位
- ・積雪寒冷地であり、冬期間の外出が減少する傾向  
※秋期と比較して冬期の外出率が約16%減少

⇒歩きたくなる、外出したくなるまちづくりにより、市民の健康促進を図る

## ■安全・安心な歩行環境

- ・道内の令和5年度交通事故による死者数の内、約40%が歩行者
- ・誰もが円滑に移動できる環境(ユニバーサル社会)の必要性
- ・「こどもまんなかまちづくり」など、こどものための生活空間を形成する機運の高まり

⇒歩きたくなるまちづくりにより、誰もが安全・安心に移動できる歩行環境をつくる

## ■交流・にぎわいの創出

- ・拠点における商業機能の空洞化
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・観光戦略としての消費額の大きい海外客誘致の必要性  
※第2次札幌市観光まちづくりプラン

⇒地域の特性に応じた歩きたくなるまちづくりにより、市民とともに交流・にぎわいを創出する

# サッポロオーカブルシンポジウムの開催

- ・産学官民が協働してサッポロオーカブルを推進していくためのキックオフイベントとして6/2(日)開催
- ・検討委員のみなさまにもご登壇いただき、3つのテーマでパネルディスカッションを実施



# サッポロウォーカブルシンポジウムの結果

- ・3つのパネルディスカッションにおいて検討委員のみなさまからいただいた主な意見は以下のとおり
- ・今後始動する「都心」「地域交流拠点」「住宅市街地」プロジェクトチームにおいて検討を進める

## ■健康×ウォーカブル

- ・人間のビタミンD生成には日光が非常に重要な役割を果たしている
- ・国内で高緯度に位置する札幌は他都市より長時間、屋外にいる必要性があるのではないか
- ・ウォーカブル施策は身体的健康だけでなく精神的・社会的健康も有用である
- ・都市に近接した低山が多く、トレイル等が気軽にできることが札幌の強みだと感じる
- ・柔らかい路面素材を用いることで認知症予防につながる
- ・中国の研究では、車所有の有無で5年後の体重が10kg、運動時間は30分も差が生まれている
- ・自動車に頼らずに歩いて暮らせる都市計画が健康施策としても重要



# サッポロウォーカブルシンポジウムの結果

- ・3つのパネルディスカッションにおいて検討委員のみなさまからいただいた主な意見は以下のとおり
- ・今後始動する「都心」「地域交流拠点」「住宅市街地」プロジェクトチームにおいて検討を進める

## ■安全・安心×ウォーカブル

- ・インクルーシブデザインは環境整備ありきではなく当事者と一緒に検討する必要性がある
- ・歩行者利便増進道路制度を活用する中で、あらゆる人の公平性を検討することが重要
- ・ネガティブチェックだけでなく子どもにとって安全で楽しい道を考える視点も忘れないようにしたい
- ・碁盤の目の都市において、ここは交通、ここは歩行者中心というようにメリハリをつけていくことが重要
- ・自動車の速度規制を海外都市のように取り入れることも必要ではないか
- ・小学生未満の子どもたちの安全をより考える視点も重要

# サッポロウォーカブルシンポジウムの結果

- ・3つのパネルディスカッションにおいて検討委員のみなさまからいただいた主な意見は以下のとおり
- ・今後始動する「都心」「地域交流拠点」「住宅市街地」プロジェクトチームにおいて検討を進める

## ■交流・にぎわい×ウォーカブル

- ・イベント的にプレイヤーとゲストの関係で終わりがち。キャストがいて場や人との関係性を育ていくことが重要
- ・緑の存在は人同士の交流につながる
- ・エディブルランドスケープの先進地イギリスでは道路の植栽が畑になっている
- ・冬場の車線減に耐えられる札幌市は道路空間の再配分が可能ではないか
- ・車線を自転車空間等に再配分した場合の交通解析やネットワーク検討をする転換点に札幌市はいるのでは
- ・最新の海外の動向はオープンカフェからアートや緑に移行している



# 3つのテーマに共通する課題「冬のウォーカブル」

- ・サッポロウォーカブルを考える上で欠かせないのが「雪」の存在(年間累計降雪量約5m)
- ・冬期間外出が減少する札幌において、冬でも外出したくなる、歩きたくなる仕掛け、空間づくりが重要



※札幌市の降雪量は、気象台（札幌）の平年値  
 世界各都市の降雪量は、昭和63年の調査値  
 人口は総務省統計局「世界の統計 2022」より



冬期間、車線幅が狭くなる道路空間



歩きたくなる仕掛け(スノーキャンドル)

⇒令和6年12月「世界冬の都市市長会」でも意見交換を予定

# 「（仮称）札幌市ウォーカブルビジョン」の関連計画

- ・ビジョン内容の検討にあたり、札幌市における関連計画を踏まえた位置づけを整理
- ・多岐に渡る関連計画との整合性を図りながら、本ビジョンに求められる内容を検討する必要性

## 【第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン】

- ・ビジョン編(R4策定)
- ・戦略編及びアクションプラン(R5策定)



## 【（仮称）札幌市ウォーカブルビジョン】

- ・ビジョン(R7策定予定)
- ※より具体的な推進計画の策定も今後検討



- ・【さっぽろ未来創生プラン】R6年度策定予定
- ・【第3次都市計画マスタープラン／第2次立地適正化計画】R7年度策定予定
- ・【第3次札幌市都心まちづくり計画】R7年度策定予定
- ・【札幌市再開発方針】R7年度策定予定
- ・【札幌市地域公共交通計画】R6年度策定予定
- ・【札幌市景観計画】R8年度策定予定
- ・【大通公園のあり方】R6年度策定予定
- ・【札幌市健康づくり基本計画 健康さっぽろ21（第三次）】R6年度策定予定

※計画名称はすべて仮称



# 「（仮称）札幌市ウォーカブルビジョン」の構成案

- ・これまでの説明を踏まえて、現時点で想定しているビジョン構成案は以下のとおり
- ・ターゲット(誰のためのビジョンか)を明確化することで策定後のアクションにつなげたい

## 【ビジョン構成(案)】

1. 札幌市におけるウォーカブル推進の意義・目的
2. 「都心」「地域交流拠点」「住宅市街地」それぞれにおける“目指す姿”の整理・可視化
3. サッポロウォーカブル推進に資する効果的な手法(ケーススタディ)の紹介
4. 官民それぞれの役割を整理したサッポロウォーカブル推進体制や支援制度の紹介

## 【ターゲット(案)】

- ・ 地域団体及び企業(民):地域主体のウォーカブルなまちづくりの参考書とする  
※市の方向性や各種支援制度を整理
- ・ 札幌市役所内部 (官):札幌市の目指すウォーカブルシティ像を明確化し各施策の指針とする  
※規制緩和や各種支援制度の柱となる考え方を整理

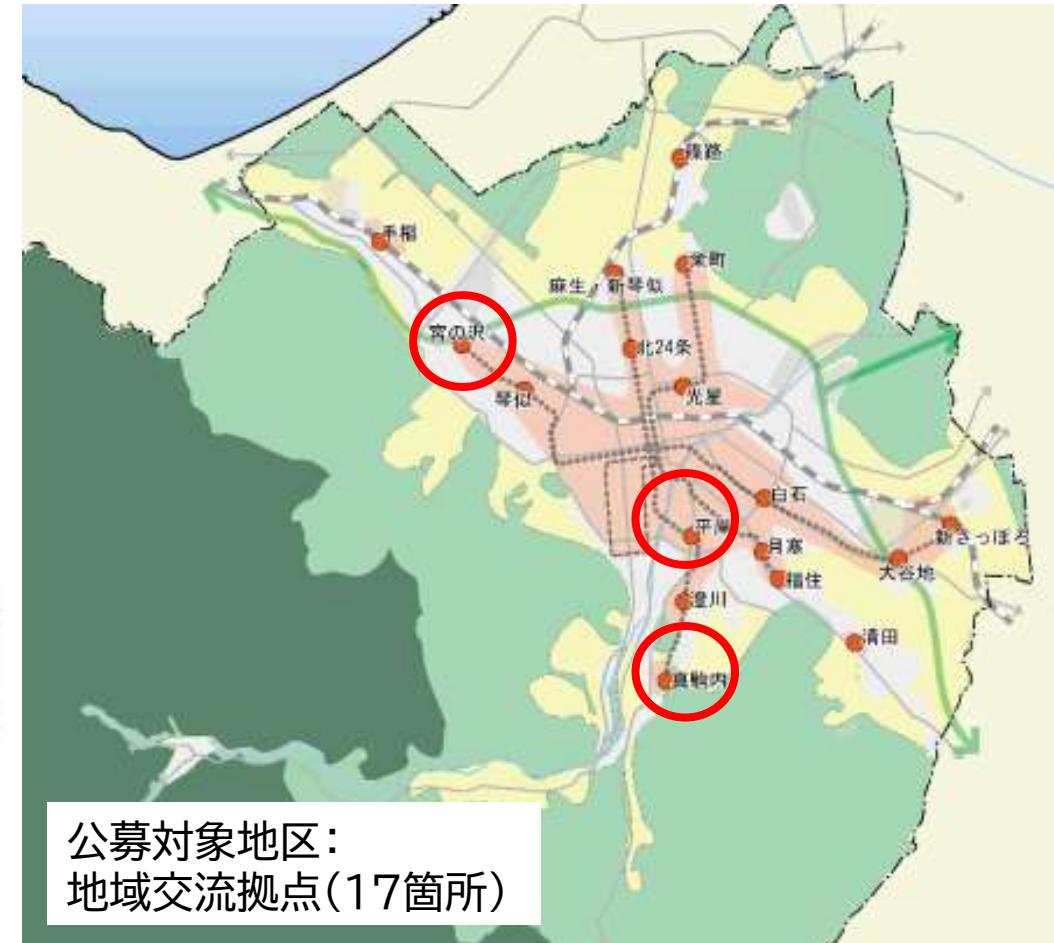


# 公募型実証実験の概要

- ・「効果的な手法」の検討に向けて、地域団体等が主体となったウォーカブルなまちづくりの可能性を検証
- ・道路や公園、広場等の公共的空間を活用する事業を募集し、3件(応募7件中)を採択

## <実施スケジュール>

- ・ 7月上旬:審査委員会の開催、採択団体の決定
- ・ 7月28日:市民ワークショップにてご紹介
- ・ 8月3,4日:第1弾【平岸地区】
- ・ 8月24日 :第2弾【宮の沢地区】
- ・ 9月28日 :第3弾【真駒内地区】
- ・ 10月頃:採択団体による懇談会
- ・ 11月頃:成果報告会







# 公募型実証実験 第1弾企画【平岸】

- ・「平岸夏祭り」を8/3(土)～4(日)の2日間開催 ※主体「マルシェ本舗」
- ・道路空間や公園空間を活用し、「マルシェ」、「盆踊り」、「縁日」等を実施予定



周辺地図

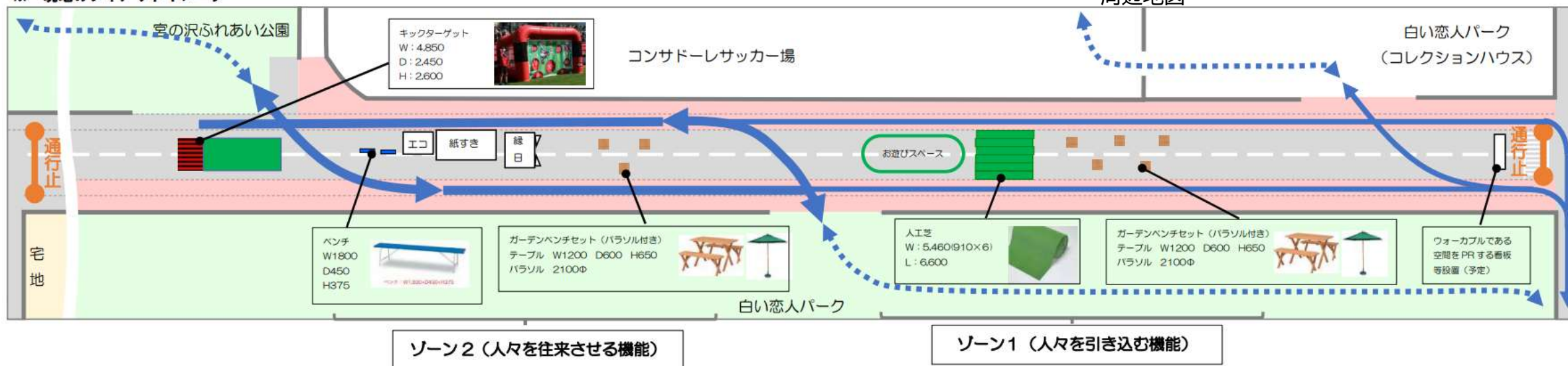


# 公募型実証実験 第2弾企画【宮の沢】

- ・「コンサふれあい通りホコテン化プロジェクト」を8/24(土)に開催
- ・道路空間を歩行者天国化し「休憩施設の設置」、「紙すき体験」、「キックターゲット」等を実施予定
- ※主催「宮の沢まちづくり協議会」



※ 現地のレイアウトイメージ



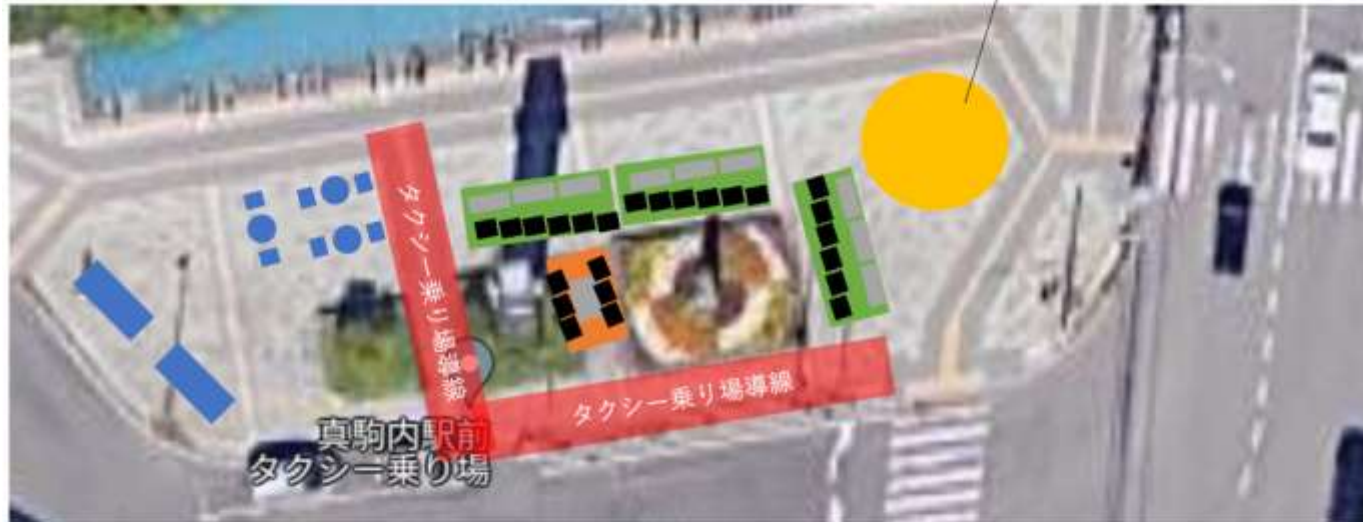




# 公募型実証実験 第3弾企画【真駒内】

- ・「真駒内駅前地区にぎわいウォーカブル実証実験」を9/28(土)に開催 ※主催「マコエキ会」
- ・駅前の歩道空間を活用し、「青空市」、「憩いの場」、「ストリートパフォーマンス」等を実施予定

音楽、ジャグリング  
パフォーマンスエリア



キッチンカー   
  ガーデンパラソル   
  2間×3間   
 テント  
 長テーブル   
 イス   
 1K×1.5K   
 スタッフ休憩テント

※点字タイルの上には物は設置しない  
 ※点字タイルの上には人を滞留させない  
 ※通行者の妨げになる行為は行わない



周辺地図

# 公募型実証実験の効果検証内容【平岸】

## タイムスケジュール

|       |         |
|-------|---------|
| 15:00 | 準備開始    |
| 16:00 | 実証実験開始  |
| 16:30 | 子ども企画開始 |
| 18:30 | ビンゴ大会開始 |
| 19:30 | 盆踊り開始   |
| 20:30 | 盆踊り終了   |
| 21:00 | 全体終了    |

## 調査スタッフ配置レイアウト



- ①カウント調査員(3名): 来場者数カウント
- ②カメラ(1台): アクティビティ調査(事後分析)
- ③アンケート調査員(2名): 来場者へのヒアリング



# 公募型実証実験の効果検証内容【平岸】

## ①来場者カウント調査



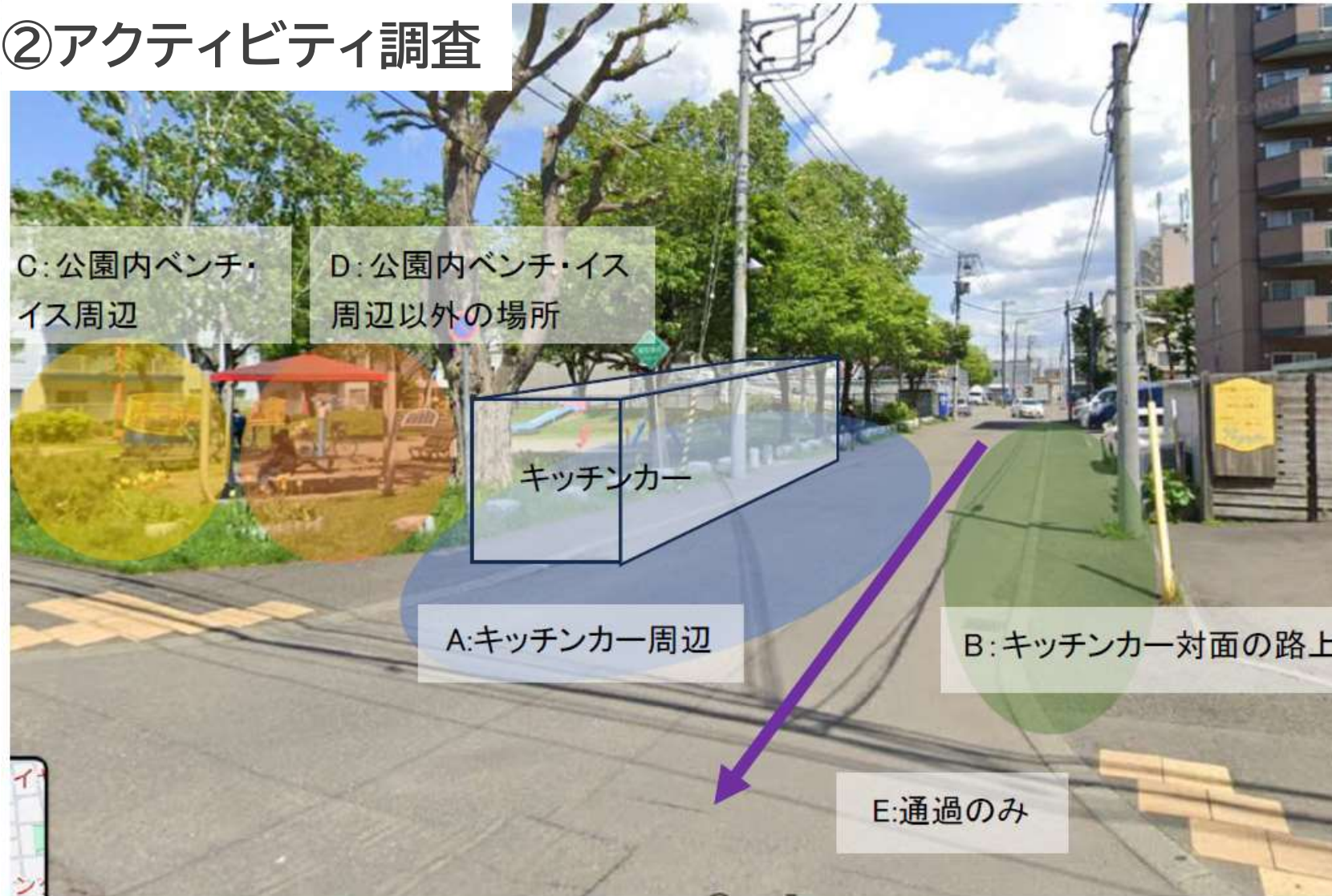
### 男女別にカウント

|               | 20歳以下                    | 20歳～40歳 | 40歳～60歳 | 60歳以上 |
|---------------|--------------------------|---------|---------|-------|
| 16:00 - 16:30 |                          |         |         |       |
| 16:30 - 17:00 | 目視で判断し、<br>カウンターを用いてカウント |         |         |       |
| 17:00 - 17:30 |                          |         |         |       |
| 17:30 - 18:00 |                          |         |         |       |
| ⋮             |                          |         |         |       |



# 公募型実証実験の効果検証内容【平岸】

## ②アクティビティ調査

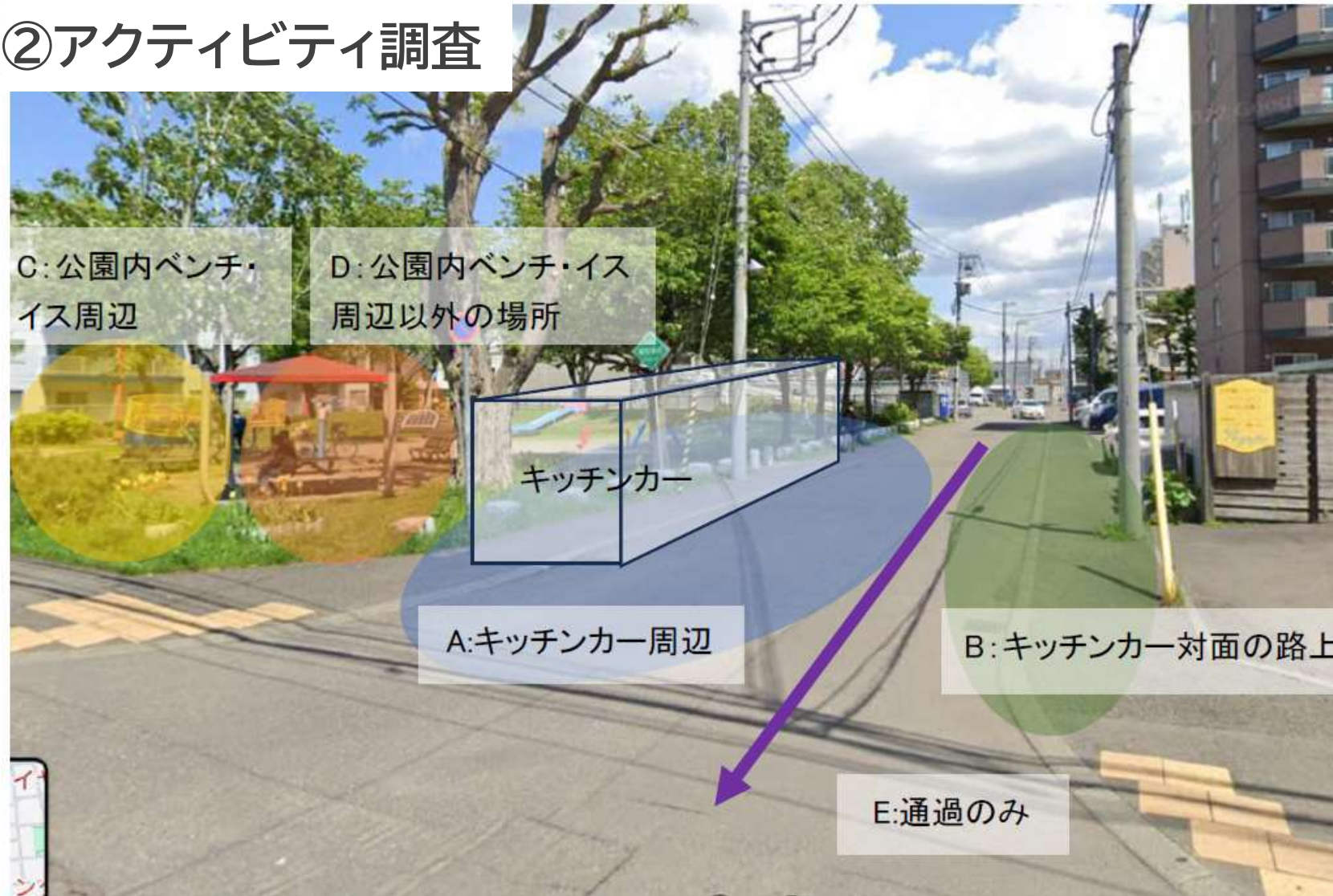


実験後に映像を分析し、  
「どのような人が(性別など)?」  
「どこで(A～E)?」  
「どのような行動をしているか?」  
を調査する。



# 公募型実証実験の効果検証内容【平岸】

## ②アクティビティ調査



動画を用いたアクティビティ調査  
調査票

1. 対象者 年代区分 (A: 20 歳以下・B: 20 歳～40 歳・C: 40 歳～60 歳・D: 60 歳以上)

| 外見等から<br>想定される<br>情報 | グループ<br>人数 | ( ) 名 | 内訳                             |
|----------------------|------------|-------|--------------------------------|
|                      |            |       | 【対象者】<br>性別(男性・女性・不明) 年代区分( )  |
|                      |            |       | 【同行者1】<br>性別(男性・女性・不明) 年代区分( ) |
|                      |            |       | 【同行者2】<br>性別(男性・女性・不明) 年代区分( ) |
|                      |            |       | 【同行者3】<br>性別(男性・女性・不明) 年代区分( ) |

2. 対象者 (グループの行動)

| 【スポット記号】            | 【行動記号】       |
|---------------------|--------------|
| A: キッチンカー周辺         | a: 飲食        |
| B: キッチンカー対面の路上      | b: 会話(買い物含む) |
| C: 公園内ベンチ・イス周辺      | c: 携帯電話の操作   |
| D: 公園内ベンチ・イス周辺以外の場所 | d: 読書        |
| E: 通過のみ             | e: 人を眺める／佇む  |
| F: その他※場所を記述        | f: 写真を撮る     |
|                     | g: 子どもが遊ぶ    |
|                     | h: 睡眠        |
|                     | i: その他       |
|                     | ※内容を記述       |

| 行動順序 | スポット | 行動 | 滞在時間  | 備考 |
|------|------|----|-------|----|
| 1    |      |    | ( ) 分 |    |
| 2    |      |    | ( ) 分 |    |
| 3    |      |    | ( ) 分 |    |
| 4    |      |    | ( ) 分 |    |
| 5    |      |    | ( ) 分 |    |
| 6    |      |    | ( ) 分 |    |
| 7    |      |    | ( ) 分 |    |

# 公募型実証実験の効果検証内容【平岸】

## ③アンケート調査

Q1. あなたの性別をお答えください。

Q2. あなたの年齢をお答えください。

Q3. あなたのお住まいの地域をお答えください。

Q5. どなたと一緒にお越しになりましたか。

Q6. 当イベントを何で知りましたか？

Q7. どの交通手段でお越しになりましたか？

Q8. 平岸夏祭りの満足度を教えてください。

Q9. どのコンテンツを体験しましたか。

Q10. また利用したいコンテンツはどれですか。

Q11. 今後も「平岸ハイヤー」を拠点としたイベントの開催を望みますか。

Q12. 「平岸夏祭り」にどのくらい滞在しましたか。

また、このようなイベントがあると歩きたくなると思いますか。

Q13. 「平岸夏祭り」でどのくらいの金額を使用しましたか。

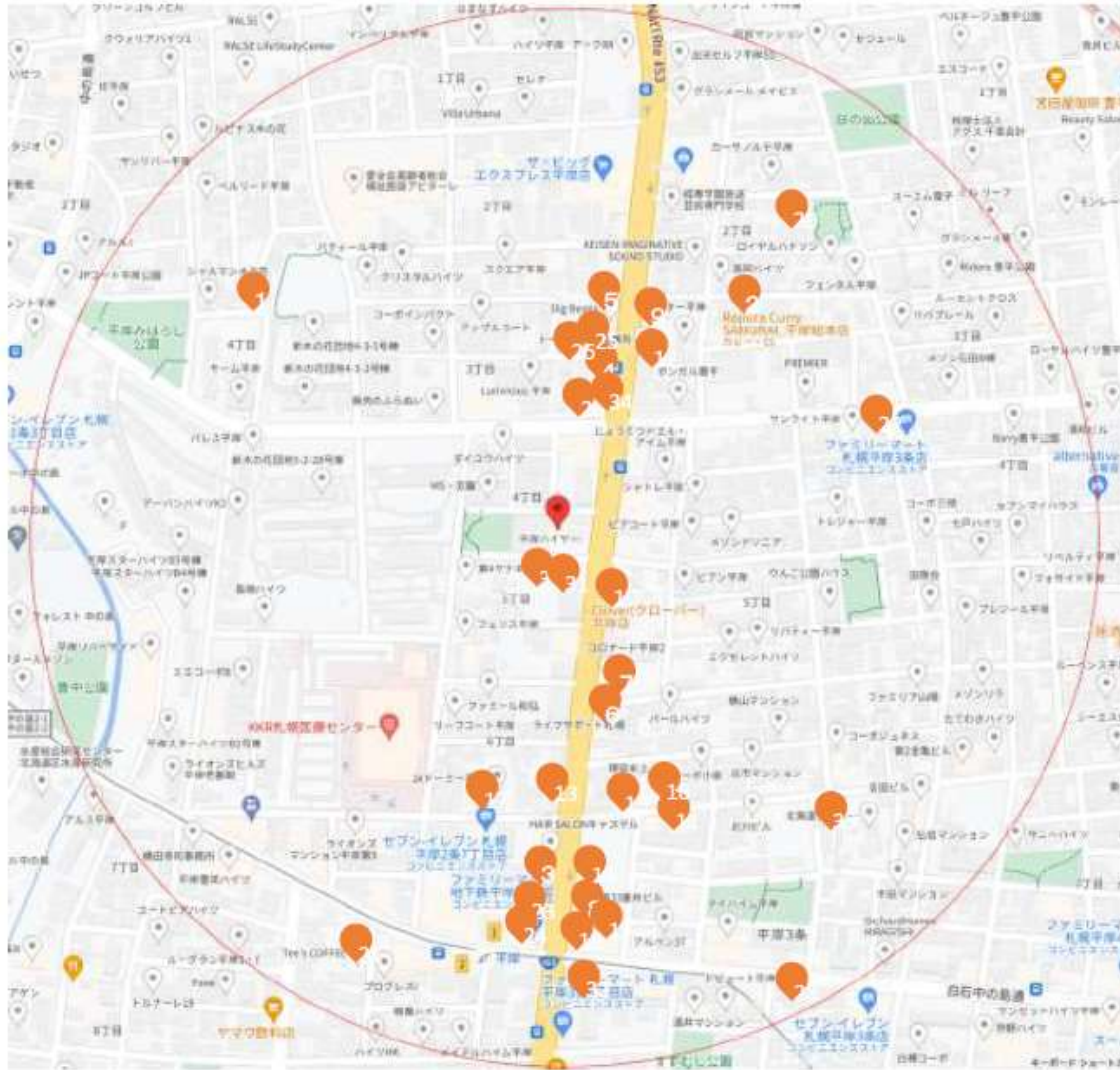
Q14. 「平岸ハイヤー周辺(本イベント開催地)」にどのような取り組みや機能があれば歩きたくなる理由になると思いますか。

Q15. 普段、イベント開催などの情報を受け取る際にどの媒体を利用しますか？



# 公募型実証実験の効果検証内容【平岸】

## ④周辺店舗への波及効果調査



実証実験後に、

- 売上金額や来店者数の変化(上昇率)
  - 客層や来店手段の変化
- などから、実証実験の効果検証を行う。

# 公募型実証実験の効果検証内容【平岸】

## 論点2

### ①来場者カウント調査



今回実施する各コンテンツが、  
どのような属性(性別・年代)に効果的か検証する

交流・にぎわい

健康

### ②アクティビティ調査



今回実施する各コンテンツが、  
どのような属性(性別・年代)に効果的か、  
また、行動変容にどのような影響があるか検証する

交流・にぎわい

安全・安心

健康

### ③アンケート調査



今回実施する各コンテンツが、  
どのような属性(性別・年代)に効果的か検証する

交流・にぎわい

安全・安心

### ④周辺店舗への波及効果調査



今回実施する実証実験が、  
周辺の商業活動にどの程度波及するのか検証する

交流・にぎわい



# 市民ワークショップの開催

- ・3つの実証実験フィールドワークに先立ち、市民ワークショップを開催
- ・「わたしが好きなさっぽろ」「あるきたくなる場所」から札幌版ウォーカブルシティを考える



**参加者募集!!**

居心地が良く歩きたくなるさっぽろを  
みんなで考える

**サッポロウォーカブルプロジェクト**

がはじまります!

みんなで「居心地が良く歩きたくなるさっぽろ」を考えませんか?  
札幌市では現在、歩行者にとって居心地が良く、  
歩きたくなるまち「ウォーカブルシティ」を実現するための計画、  
「(仮称)札幌市ウォーカブルビジョン」策定に向けた検討に取り組んでいます。  
このプロジェクトでは、みなさまから広くご意見をいただいたり、  
3つの実証実験箇所を巡るフィールドワークを実施していきます。



**ワークショップ**

2024.7.28(日) 10:00-12:00  
開催場所: Space札幌 大通EAST  
札幌市南2条東2丁目7-1 第3NEOビル 7F

テーマ: みなさんの「好きな場所、歩きたくなる場所」を集めて、  
理想の「サッポロウォーカブル」を考えます

**第1回  
フィールド  
ワーク**

2024.8.3(土) 16:00-17:00 ※時間は変更になる  
場合があります

開催場所: 平岸ハイヤー駐車場 ほか  
札幌市豊平区平岸2条4丁目5-15

テーマ: サッポロウォーカブル実証実験第1弾企画である  
「平岸夏祭り」にみなさんで参加し、フィールドワークを行います

※今後、  
第2弾企画「宮の沢」、  
第3弾企画「真駒内」も  
追って情報公開予定です!

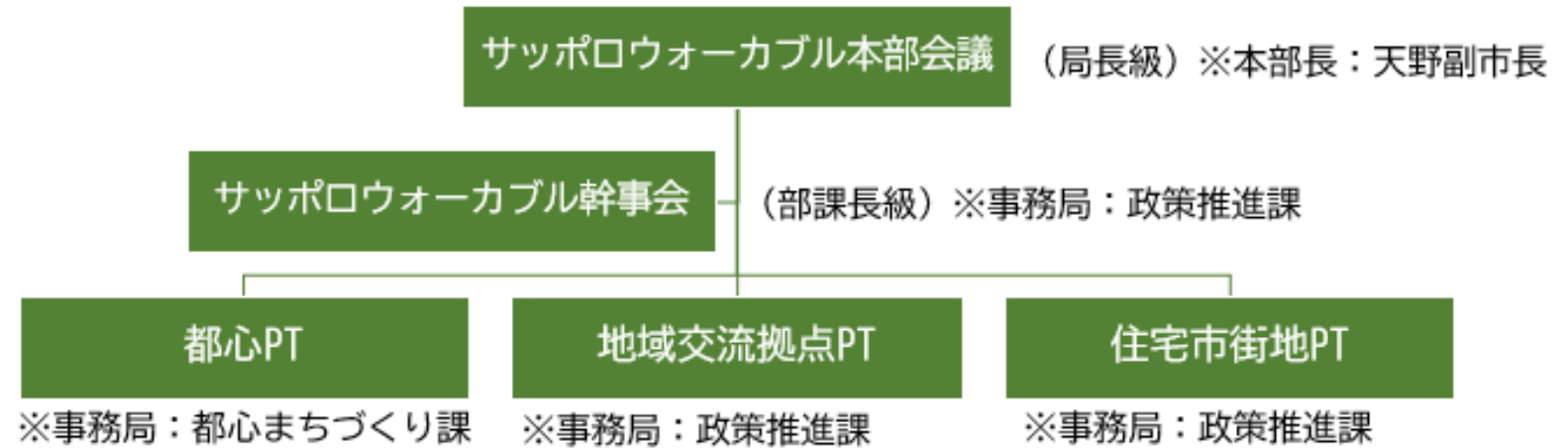
ワークショップ、フィールドワークのお申し込みはこちらのフォームからお願いします  
ワークショップのみのご参加も可能です。

申込締切  
7/26(金)



# 庁内推進体制と各プロジェクトチームの設置

- ・局横断的にウォーカブル施策を推進するため、札幌市ウォーカブル推進本部会議を設置
- ・様々な分野の担当が集まるプロジェクトチームを組織し、今後本格的な検討を開始予定



本部長(天野副市長)より、「これまでの慣例に縛られず、新たな制度の活用や、既存の事業の見直しなどを積極的に行うこと」と指示があった(令和6年6月18日第1回本部会議)

# 今後のスケジュール

- ・今年度中のビジョン骨子作成に向けて各種実証実験や、庁内外の会議体を通して検討
- ・市民参加機会や適時の広報により、策定プロセスを含めて機運醸成を図る

|            | 6月                      | 7月                   | 8月                | 9月          | 10月               | 11月                  | 12月             | 1月               | 2月 | 3月         | 2025年度     |
|------------|-------------------------|----------------------|-------------------|-------------|-------------------|----------------------|-----------------|------------------|----|------------|------------|
| 検討委員会      | ●第0回:「サッポロウォーカブルシンポジウム」 | ●第1回:本日(ビジョン構成／実証実験) |                   |             |                   | ●第2回(実証実験結果／各PT中間報告) |                 | ●第3回(ビジョン骨子中間報告) |    |            | ●第4回(骨子報告) |
| 実証実験       | ●-----                  |                      | ●8/3-4:【平岸】       | ●9/28:【真駒内】 |                   |                      | ●成果報告会(公募型実証実験) |                  |    |            |            |
|            |                         |                      | ●8/24:【宮の沢】       |             |                   |                      |                 |                  |    |            |            |
|            |                         |                      | ●6/27-8/31:【都心部①】 |             |                   |                      |                 |                  |    |            |            |
|            |                         |                      |                   | ●-----      | ●9/11-10/8:【都心部②】 |                      |                 |                  |    |            |            |
| 市民参加       | ●「サッポロウォーカブルシンポジウム」     |                      |                   |             |                   |                      |                 |                  |    |            |            |
|            |                         | ●7/28:市民ワークショップ      |                   |             |                   |                      | ●成果報告会(公募型実証実験) |                  |    |            |            |
| 市プロジェクトチーム | ●第1回:札幌市ウォーカブル推進本部会議発足  |                      |                   |             |                   |                      |                 |                  |    | ●第2回推進本部会議 |            |
|            |                         | ●-----               |                   |             |                   |                      |                 |                  |    | ●-----     |            |
|            |                         |                      |                   |             |                   |                      |                 |                  |    |            |            |

「都心」「地域交流拠点」「住宅市街地」プロジェクトチームの検討



# 【情報提供】都心部中通りの社会実験①

・都心部において「中通りの魅力化」に向けた社会実験を実施中

## 【実施期間】

・令和6年6月27日(木)～8月31日(土)

## 【実施場所】

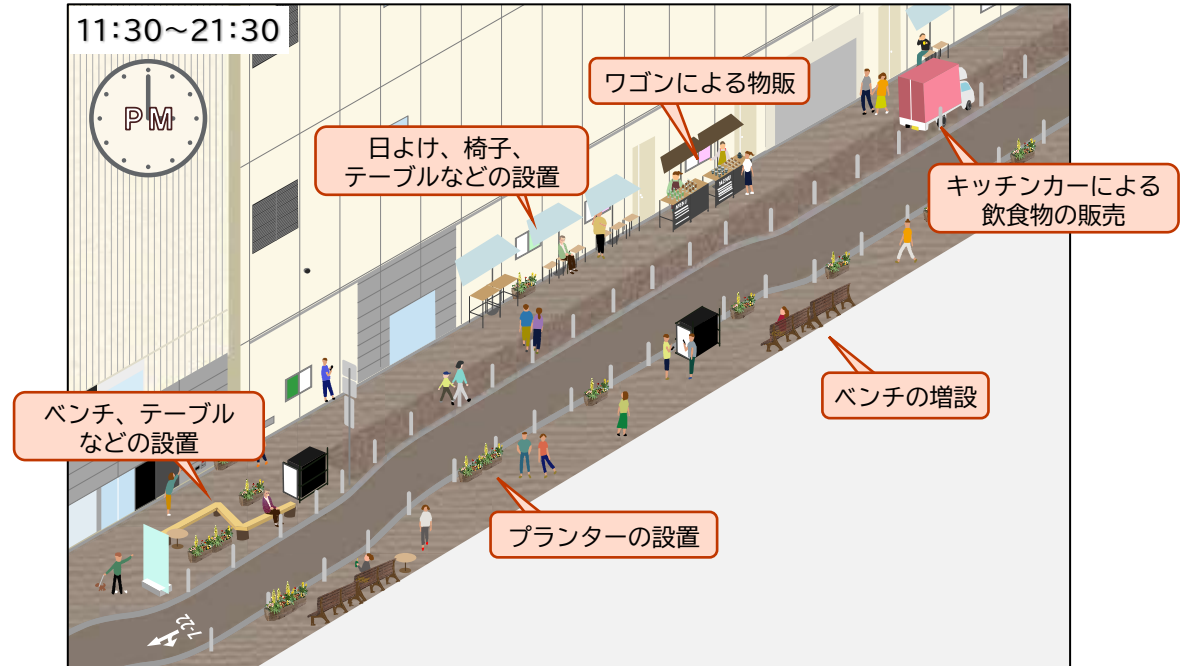
・さっぽろシャワー通り(札幌市中央区南1条西3丁目)

## 【実施主体】

・札幌都心交通研究会(事務局:札幌大通まちづくり株式会社)

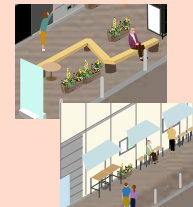


歩行者の空間として運用する時間帯における賑わい空間の創出



### ヒトが滞在しやすい空間づくり

ベンチやテーブル、椅子、日よけなどを設置し、日常的に滞在しやすい空間を創出



### ヒトが訪れる空間づくり

ワゴンやキッチンカーで飲食や物販を実施し、ヒトが訪れやすい空間を創出(週末に実施予定)



### 弾力的な道路占用の運用

物販を実施する日数、時間帯を指定して占用する手続きが取れるようになるなど、道路占用の弾力的な運用に向けた検証を実施

# 【情報提供】都心部中通りの社会実験②

・都心部において「荷捌き効率化」と「安全・安心な歩行空間確保」に向けた社会実験を実施予定

## 【実施期間】

・令和6年9月11日(水)～10月8日(火)

## 【実施場所】

・南1西2中通り、南1西3中通り  
(大通西2丁目～南1条西2丁目、大通西3丁目～南1条西3丁目)

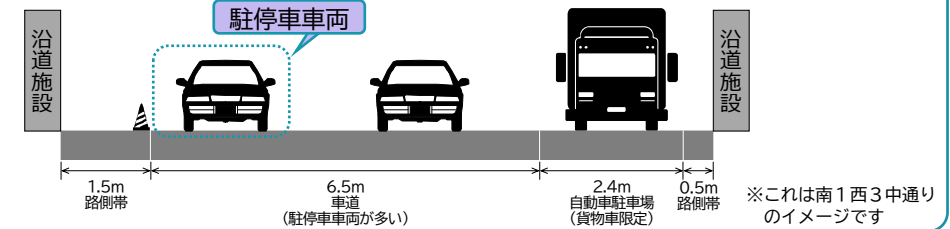
## 【実施主体】

・札幌都心交通研究会(事務局:札幌大通まちづくり株式会社)



## 実験前

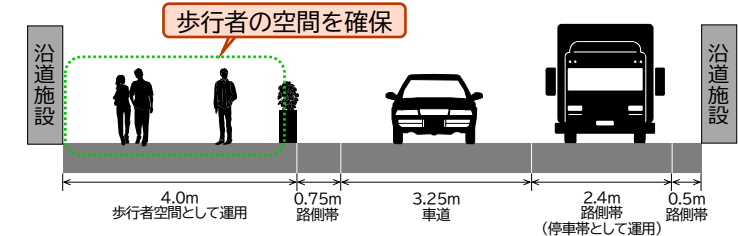
貨物車両や一般車両の駐停車が多く発生しており、安全に通行できる歩行空間が確保されていない



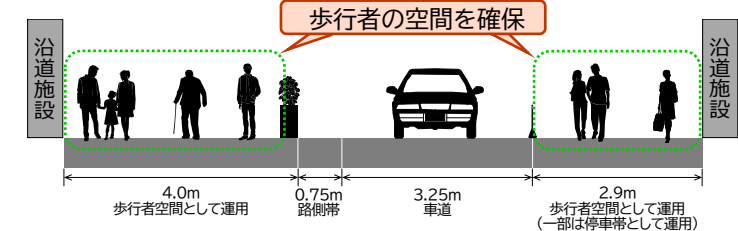
## 実験時

荷捌き中心の時間帯と歩行者中心の時間帯で道路空間の運用を変更し、歩行空間を確保

18:00～11:30: 荷捌き中心時間帯



11:30～18:00: 歩行者中心時間帯





# 【情報提供】大通公園のあり方検討

・現在、札幌市の象徴的空間である大通公園のあり方を議論中(令和6年度末策定予定)

## 大通公園のあり方の検討について

資料 1-1 P1

### 1. 概要と課題

**公園の概要**

【所在】札幌市中央区大通西 1～12丁目【面積】78,901㎡【種別】特殊公園  
 【変遷】1871年 開拓使により火防線等を目的に道路を整備  
 1911年 西 3～7丁目において本格的な公園整備  
 1950年 さっぽろ雪まつり初開催  
 1968年 札幌市創建百年記念事業として西 1・2丁目を公園化、西 4丁目などで噴水を整備  
 1980年 都市公園法を適用して大通公園として告示  
 1989年 大通公園リフレッシュ事業により再整備(～1994年完成)



彫刻家 故・イサム・ノグチにより西8丁目、西9丁目の間に道路を廃止して設置されたブラック・スライド・マントラ (1993年)

**課題**

大通公園は、年間を通して多くの市民や観光客が訪れる、札幌を代表する公園のひとつであり、都心の魅力向上に向け、周辺のまちとの連携や老朽化した施設の更新が必要。  
 また、昨今は、スケートボード、喫煙、自転車、イベント開催に伴い一般の公園利用に支障が生じるなど、時代の変化に合わせた課題が生じている。



夜間に若者が集まってスケートボードで遊んでおり、騒音対策や歩行者への衝突危険が生じている  
 周辺オフィスビル等の装飾化が進み、喫煙者が大通公園の一角で喫煙している様子が見られる  
 公園周辺のマンションなどが増えることにより、公園は日常的に多くの利用者に利用されているものの、イベント開催前後では利用制限も発生している

**公園周辺のまちづくり**

2030年度に予定されている北海道新幹線札幌開業をはじめ、大通公園周辺でも建物の更新が活発化している。  
 また、公園施策を取り巻く環境についても、既存ストックの効果を一層高めるため、民間との連携加速や地域ニーズに対応した使い方など、より柔軟な発想で運用していくことが求められる。



北 5 西 1・西 2 再開発 (イメージ)  
 大通西 4 南再開発 (イメージ)

### 2. 大通公園に求められる役割について

| 歴史性・位置付け                                                                                                                      | 公園に求められる社会的要請                                                                                                                                                                                                                   | 大通公園の新たな可能性として想定される活用例 (イメージ)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○開拓使が火防線等として設置した札幌のまちづくりの起点</p> <p>○自然豊かな札幌を象徴する都心の緑地空間</p> <p>○都心部の良好な街並みを形成する風貌軸</p> <p>○多くのお祭り、スポーツなどが開催される都市活動の中心地</p> | <p><b>環境</b> みどりの確保のほか、省エネ、リサイクルなど、脱炭素化に資する公園づくり</p> <p><b>ユニバーサル</b> 誰もが利用しやすい公園づくり</p> <p><b>ウォークアブル</b> 歩いて楽しいまちづくりに資する公園づくり</p> <p><b>防災・安全</b> 長く安全に利用できる老朽化対策や防災機能を一層高めた公園づくり</p> <p><b>デジタル</b> デジタル技術と連携した未来型の公園づくり</p> | <p><b>多様なライフスタイルを支える場</b><br/>           展開例<br/>           ジョギング、エクササイズ、キッチンカー、マルシェなど</p> <p><b>様々なニーズを受け止める場</b><br/>           展開例<br/>           子育て環境、保育園の遊び場、喫煙ブースの設置などによる分煙環境の推進など</p> <p><b>コミュニティ活動を創出する場</b><br/>           展開例<br/>           アーバンスポーツの場、路上パフォーマンスなどの文化活動</p> <p><b>まちづくりとの連携</b><br/>           展開例<br/>           官民連携の公園整備、公園・道路・沿道建物がシームレスな緑地空間の整備など</p> |

出典：久通大通公園公式HP <https://mynagoya.jp/>  
 まちの保樹会子ども園より提供 <https://machiboku.jp/cityof札幌/>  
 出典：官民連携公式HP <https://www.seibu-ia.co.jp/park/miyashita-park/>  
 豊島区公式HP <https://www.city.toshima.lg.jp/toshimacommunity/index/park.html>

### ◆ニーズの具体化に向けた取組イメージ

| 考え方1 大通公園の魅力と機能の向上                                                                                                                        | 考え方2 「いこい」と「にぎわい」の両立                                                                                                                      | 考え方3 沿道と連携したみどりの軸の強化                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>取組イメージ</b></p> <p>○従来からの役割の継承・強化と新たな可能性の検討</p> <p>○老朽化に対応した大通公園の再整備の検討</p> <p>○大通公園の回遊性の向上に向けた議論と検討</p> <p>○民間事業者と連携した公園整備手法の検討</p> | <p><b>取組イメージ</b></p> <p>○日常利用とイベント利用の使い分け</p> <p>○公園の憩い機能を発揮する公園敷地内外の空間形成</p> <p>○エリアごとの特徴を活かした公園の利活用</p> <p>○多様な園内利用の検討と実現に向けた仕組みづくり</p> | <p><b>取組イメージ</b></p> <p>○公園～道路～民間敷地が一体となったみどり空間の創出</p> <p>○公園敷地と隣接した歩道部分の活用</p> <p>○地下鉄などからのアクセス性を高める地下空間との連携</p> <p>○公園と沿道が連携した賑わいの空間の創出</p> |

### ◆利活用のイメージ (都心のみどりづくり方針策定時点イメージ)



| 歴史と文化の薫る空間                                | 子どもが遊び機やかに過ごせる空間                   | 賑やかな都心のオアシス                               | 戦略的活用エリア                                             |
|-------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 重要文化財の札幌市資料館とサンクガーデンが調和した文化と歴史の薫る空間としての活用 | みんなが使える遊び場で、子どもが遊び機やかに過ごせる空間としての活用 | 大通駅から最も近いエリアで、市民の憩いやイベントに大きく貢献するエリアとしての活用 | テレビ塔など札幌を象徴する施設が集積する空間のため、都心の公園にふさわしい使い方を試みる空間としての活用 |
| <b>主な施設</b><br>札幌市資料館、サンクガーデン等            | <b>主な施設</b><br>ブラック・スライド・マントラ、遊水路等 | <b>主な施設</b><br>噴水、野外ステージ等                 | <b>主な施設</b><br>テレビ塔、噴水等                              |

### ◆検討会のスケジュール

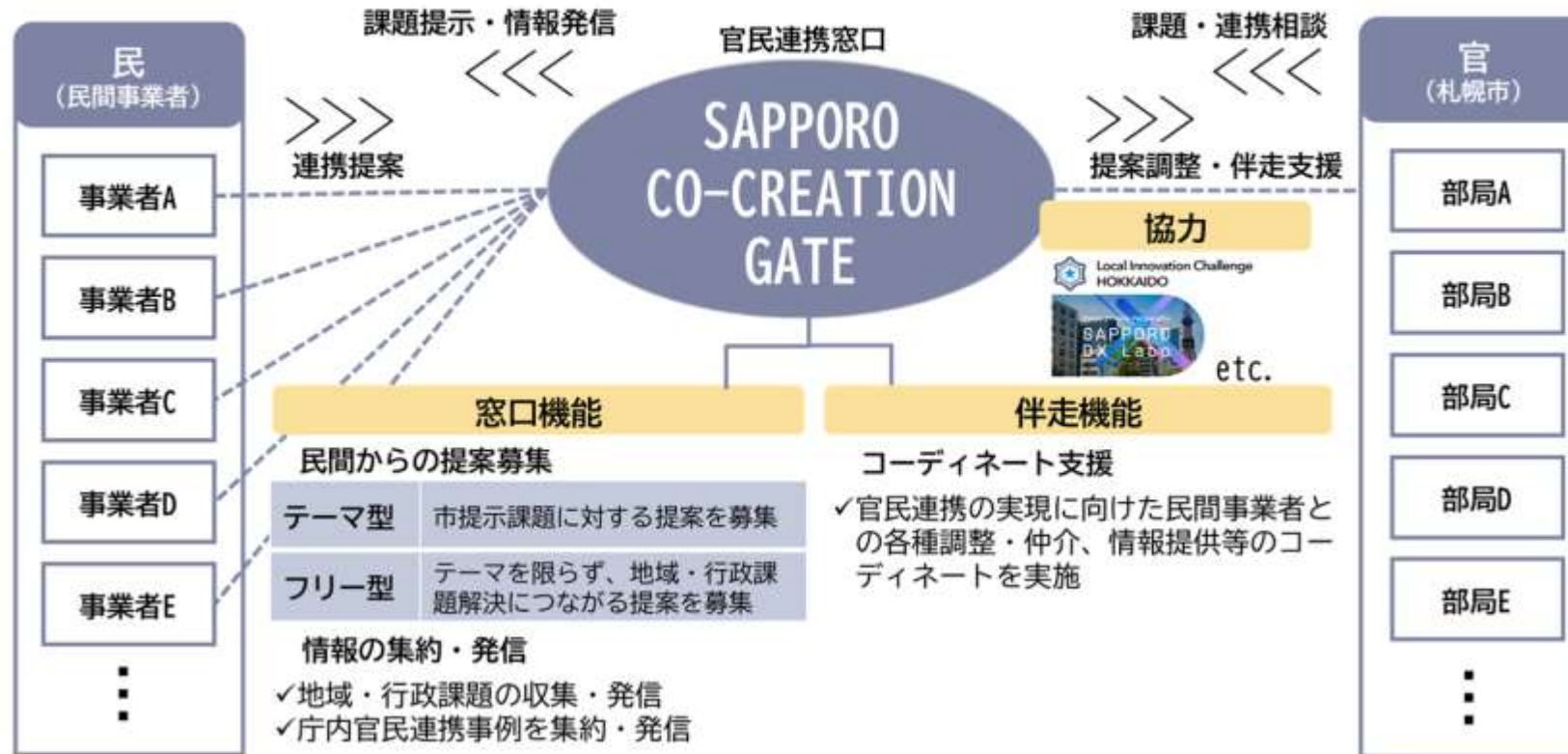
|         |        |          |                         |
|---------|--------|----------|-------------------------|
| 2023年度  | 11月 2日 | 第1回      | 大通公園の魅力と機能の向上について       |
|         | 12月18日 | 第2回      | 「いこい」と「にぎわい」の両立について     |
|         | 3月上旬   | 第3回      | 沿道と連携したみどりの軸の強化について     |
| 2024年度  | 春～夏頃   | 第4回 (仮)  | 誰もが利用しやすい公園づくりについて      |
|         | 秋頃     | 第5回 (仮称) | 大通公園のあり方のとりまとめ (素案) の検討 |
|         | 冬頃     | 第6回 (仮称) | 大通公園のあり方のとりまとめ (案) の検討  |
| 2024年度中 |        |          | ★とりまとめ                  |



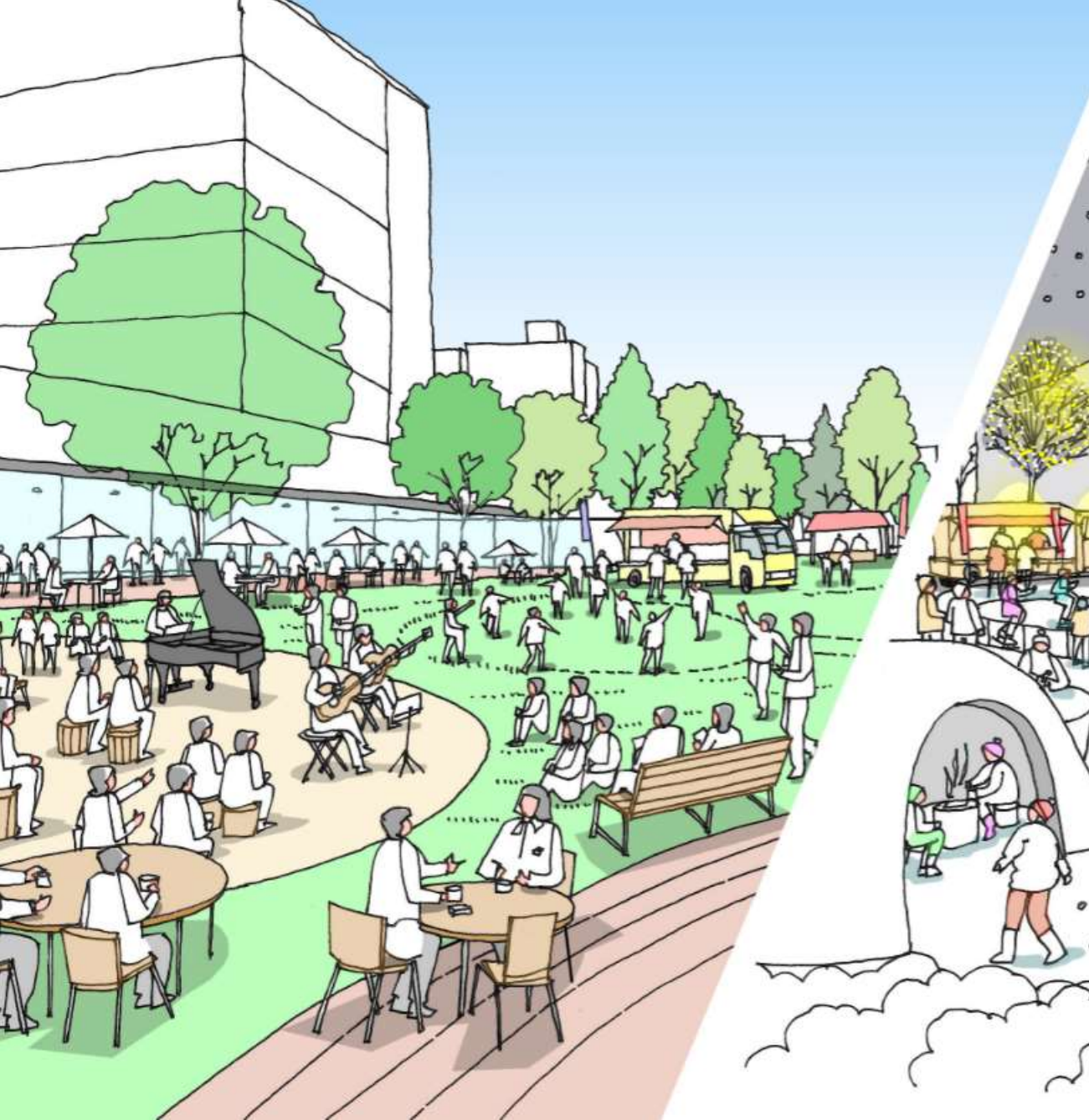
# 【情報提供】官民連携窓口の設置 ※民間提案募集中！

- ・今春発足した「公民広域連携推進室」による「官民連携窓口」が7/23よりOPEN
- ・テーマ型民間提案募集に「冬でも外出したくなる、歩きたくなる札幌版ウォーカブルシティ」を設定した

## 札幌市官民連携窓口「SAPPORO CO-CREATION GATE」の概要



※提案内容に関する市の部署が明確な場合等は、これまでどおり各部署にて対応



# 第1回札幌市ウォーカブル ビジョン策定検討委員会

ご視聴いただきありがとうございました

